

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について(報告)

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第3条第1項の規定に基づき、平成30年度第2回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 平成31年2月8日(金) 10時15分～14時
2. 場 所 和歌山県立医科大学 管理棟2階 特別会議室・C会議室
3. 出席委員 委員長 山口 悦子(大阪市立大学)
副委員長 中川 利彦(パークアベニュー法律事務所)
委員 石井 浩子(NPO法人いきいき和歌山がんサポート)
4. 院内出席者 病院長・管理者 山上 裕機
医療安全管理責任者・副院長 中尾 直之
医療安全推進部 部長 水本 一弘
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 岩城 久弥
臨床工学センター工学技士長 中村 一貴
事務局次長(病院担当) 松尾 孝志
患者支援センター副センター長 塩路 有理
患者支援センター主査 関本 查智子
患者支援センター主事 西 陽佑
医事課医事管理班長 楠本 秀行
医事課医事管理班主査 早川 崇
5. 議事次第 (1) 児童虐待への対応に係る体制整備について
(2) 読影レポート等の見落とし防止に係る当院の取組について
6. 監査結果
(1) 児童虐待への対応に係る体制整備について
 - ・最先端の実践をされていることが良く分かった。子ども虐待防止検討会及びSCANチームがきちんと機能していることに感心した。
 - ・児童相談所や保健所、市町村などとの連携についても、単なる連携だけではなく、通告後に積極的に情報を取りに行くなど、先進的な取組をしていて、素晴らしい。できればそれを制度化して欲しい。

- ・生まれてくる子どもに対する虐待リスクもきちんと把握しており、虐待の防止、早期発見という観点からも積極的な取組ができています。
- ・組織横断的に十分な対話ができる環境づくりが行われており、目的を共有しやすくしていると思う。多職種が良いチームワークで機能していて素晴らしい。今後は、医療、福祉、司法、行政の壁をブレイクスルーしていただき、和歌山モデルを全国に先駆けて進めていってほしいと期待している。

(2) 読影レポート等の見落とし防止に係る当院の取組について

- ・ポップアップ機能でアラートがあがってくるシステムを導入しているのは素晴らしい。
- ・病理のレポートについて、一つ一つカルテを開けているということなので、それをシステム化できるように、また手作業の件数が少しでも少なくなるように、今後進めていっていただきたい。
- ・非常に親切な仕組みづくりというのに感銘を受けた。
- ・リーダーシップが発揮され、職員に対する目的の明示がされていると思う。今後は、Q Iを決めて、経時的な数値の変化を視覚化し、診療科にフィードバックするとより一層効果があるのではないかと思う。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会
委員長 山口悦子